

## 函館山からの展望

函館山から見る夜景は圧巻であった。両側を港に挟まれた独特の地形はくびれのような先に無限の広がりを感じさせる。ここは函館市の市街地西端にある山で標高 334m、周囲約 9km の陸繋島でもある。陸繋島とは砂州によって大きな島とつながり陸続きとなったもの。この山を登るにはいくつかのルートがあるが、山麓駅から山頂駅まで 3 分で結ぶ大型のゴンドラ（定数 125 人）が通年運行されている。

日本は四季のある美しい国である。函館山にも四季それぞれの変化する魅力を持っている。雲海の広がる春。霧に包まれる夏には隙間から幻想的な夜景が出現する。空気が澄み切った日が続く秋は遙か遠くまで見渡せる。そして 6～から 12 月にかけてイカ釣り漁船の漁火が美しい。更に冬の雪がロマンチックに演出するイルミネーション。いつでも観光客を満足させるおもてなしをしてくれる。ここは日本一を誇る夜景の町なのだ。



私の住む故郷・神戸もまた夜景を誇る街である。摩耶山、六甲山から見える 1000 万ドルのイルミネーションは、山頂に上がって最初に見た瞬間度肝を抜かれ圧倒されてしまう。その美しさにこれがこの世のものなのかと。眼下には神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市、そして大阪市はじめ大阪府下の各市が一望できるのだ。これらの人口合わせて 1000 万人。その他には長崎の鍋冠山から見下ろす港町も情緒がある。

世界にも多くの夜景を楽しむ町がある。世界三大夜景と言われるビクトリアピークから見下ろす香港。更にイタリアのボジリポの丘から見るナポリ。そして日本を代表する函館山からの夜景が入っているから嬉しい限りだ。

撮影 2015 年春

